

# 令和5年度 月島第二小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立月島第二小学校

所在地：中央区勝どき1-12-2

校長名：柄澤 武志

児童数：681名（令和6年3月1日現在）

教員数：31名

事務主事：1名

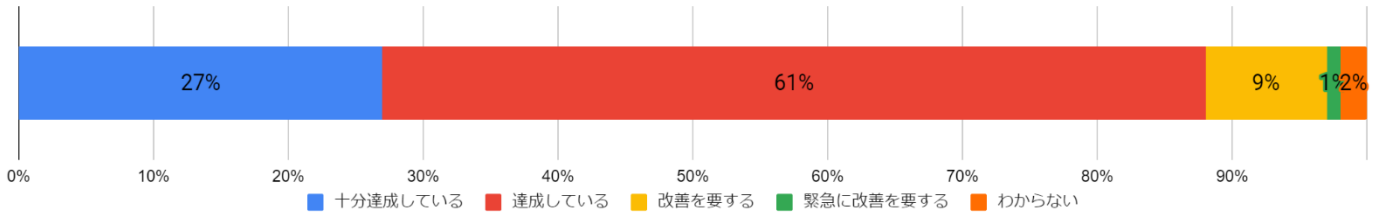
用務主事：2名

栄養士：1名

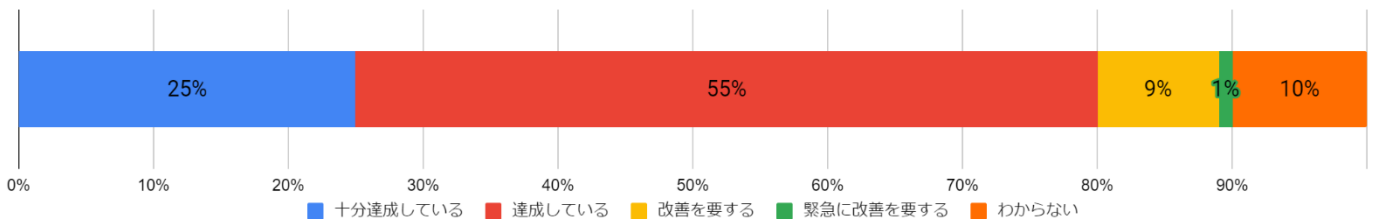
## 1 重点目標の達成状況及び取組状況

### (1) 確かな学力を身に付けさせる教育活動 〈保護者アンケート〉

重点目標1-①児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に学び、課題を解決する力を身に付けることができたか。



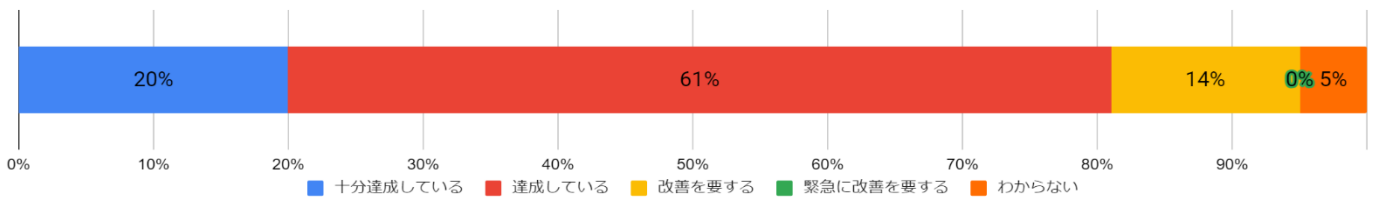
重点目標1-②児童は個に応じた指導の工夫（習熟度別少人数指導、放課後補習等）により、基礎的・基本的な学力を身に付けることができたか。



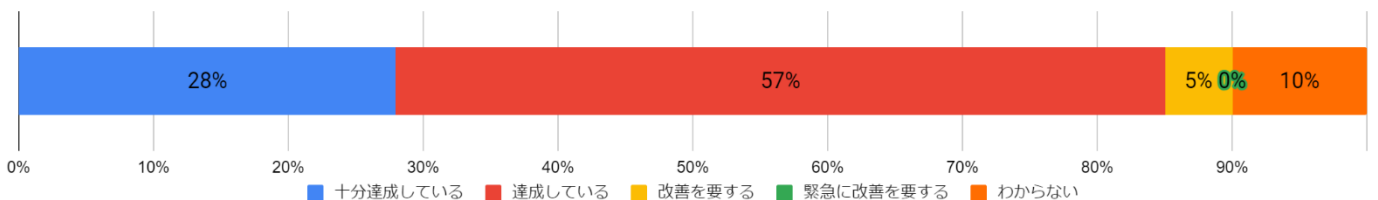
重点目標1-①については88%、1-②については80%の肯定的な評価をいただいたものの「改善を要する」や「わからない」の評価も一定数あった。今後、学校公開等を通して児童の学習の様子を参観する機会を活用し、学校での児童の様子が分かりやすいようにする。また、朝学習や放課後学習等の機会を活用したり、ICTを活用をしたりすることで、一人一人の理解状況や能力に合わせて個別に最適化された指導を継続し、基礎的・基本的な学力を身に付けさせていく。

### (2) 豊かな心を育む教育活動 〈保護者アンケート〉

重点目標2-①児童は状況に応じた気持ちのよい返事や挨拶をして、礼儀正しさを身に付けることができたか。



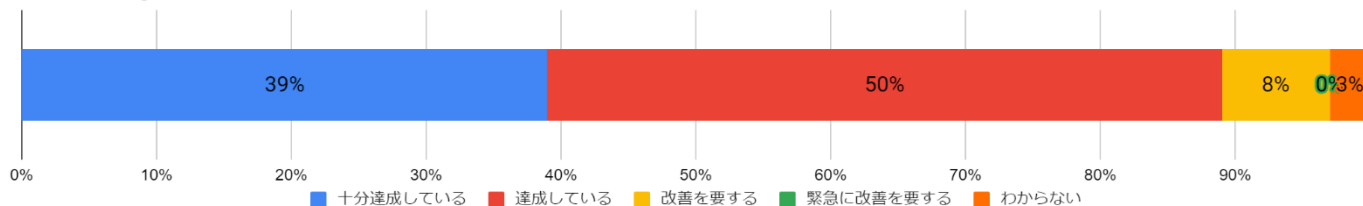
重点目標2-②児童は道徳科の授業や「命と心の授業」等の機会を通して、自他共に、生命の大切さ思いやりの心、規範意識などについて考えることができたか。



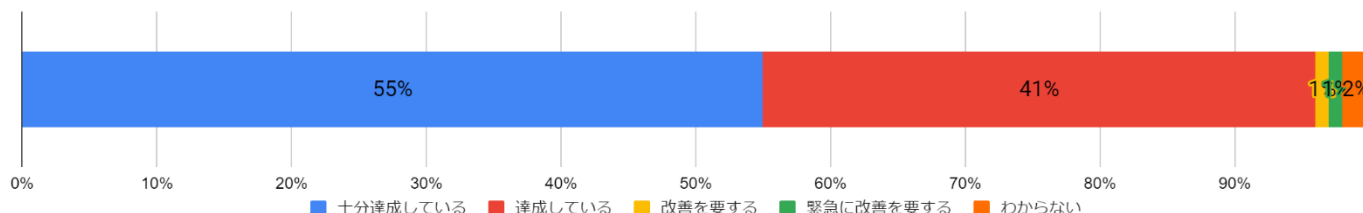
重点目標2-①については81%、2-②については85%の肯定的な評価をいただいたものの、重点目標1と同様、「改善を要する」及び「わからない」の評価もあった。年間を通じた教科等の学習指導と併せ、今後も生活指導部及び道徳部を中心に学校全体で組織的な取組をしていく。また、道徳授業地区公開講座等を通して、保護者や地域に道徳科の授業を広く公開し、道徳科の授業のさらなる質の向上と道徳教育の充実を図りつつ家庭や地域と連携して児童を健全に育成する。併せて、「返事・挨拶・後始末」を重点的に指導することを通して、児童の基本的な生活習慣を確立させる。

### (3) 健やかな心と体を育む教育活動 〈保護者アンケート〉

重点目標3-①児童は「なわとびコンクール」等の体育的取組や体育の授業を通して、スポーツに親しみ、主体的に健康づくりを行うことができたか。



重点目標3-②児童は、体育発表会や展覧会等の学校行事に一生懸命に取り組み、達成感を味わうことができたか。



重点目標3-①については89%、3-②については96%の肯定的な評価をいただいた。本校の教育の特色であるマイスクールスポーツ「なわとび」を通じた体力の向上や、縄跳びの専門家を招聘しての指導や「児童指導員」の制度を生かした縄跳び技術の向上及び達成感を味わえるような行事への取組の充実を図ることで、引き続き豊かな心と体を育てていく。

## 2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケート設問11「児童は、問題や悩み、トラブルなどを、学校の先生やスクールカウンセラーの先生に話したり相談したりしている。」では、40%の保護者が「児童が学校に問題や悩み、トラブルを相談できていない」20%が「よくわからない」と感じていることが分かった。近年、学校生活や友達との関わり方に不安を抱える児童、保護者の相談も増えているが、相談できずに困っている児童もいる可能性がある。本校は一部教科担任制を導入しているので、一人の児童に対し数多くの教員が関わるができる。その利点を生かし、児童の心に寄り添う指導や児童の多面的・多角的理解を図る学校体制を充実させ、悩みを見逃さない環境を作っていく。また、保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めていく。設問15「学校はICT機器を十分活用している。」では、24%の保護者が「十分活用していない」と考えていることが分かった。校内の情報教育担当教員やICT支援員を中心に、効果的な一人1台端末等の活用についての研修を継続的に行う。また、家庭学習にも一人1台端末等を活用していき、積極的に活用している姿を見せ、効果的を家庭と共有していく。

## 3 今後の改善方策

学校の重点目標3つに対して、概ね80%を超える方が目標を達成していると評価をしているところから、本校の教育活動が滞りなく進んでいることが成果として上げられる。また、重点目標3-②で「十分達成している」という回答の割合が他の項目に比べて高いことから、保護者が実際に教育活動を参観することで、本校の教育活動への理解が深まるのではないかと推察される。今後、行事や学校公開等で学校での児童の様子を直接参観できる機会を充実させつつ、個人面談や保護者会等での児童の様子について情報を交換したり、ホームページやGoogle Classroom等を用いて学校の様子を配信したりすることで、本校の目指す教育や目指す児童増等を家庭や地域等に共有し、重点目標が十分達成されるよう努めていく。

児童アンケートでは、本校の児童の特徴として、①授業の内容をよく理解していること、②学校の約束を守っていること、③みんなで使うものを大切にしていること、④友達と仲良く生活していること、が分かった。

今後も児童の姿を通して、育成すべき資質・能力を全教職員で共有し、保護者や地域の教育力をいただきながら、目指す児童像の育成に向けて日々の教育活動の充実を図っていく。

